

授業科目名	【G】 歴史学概論		区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
			その他参照					
科目区分	基本科目:【G】教科及び教科の指導法に関する科目(中社・地歴・・・・)							
授業形態	対面授業							
担当形態	単独	【G】 教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・・・・)科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項:「日本史・外国史」(中一種免社会)							
	「日本史」(高一種免地歴)							
サブタイトル	歴史学とはどのような学問か			担当者	田中 秀典			
授業概要	概要	歴史学とはどのような学問なのか、ということについて講義する。学問であるということからは、覚える、暗記するということに主眼があるわけではない。では、高等学校まで学んできた歴史とはどのように異なるのだろうか。ここでは、歴史学の方法論、用いられる史料などについて解説する。また、歴史学がどのように形成、展開してきたのかということ、つまり史学史について概観する。さらに、大きな枠組みを中心として、具体的に叙述されてきた歴史について紹介し、今後の学習のための指針を示すとともに、歴史学をとりまく現代的な課題についても触れる。なお、調整がつけば、史料を扱っている専門家をゲストスピーカーとして招き、史料を扱う現場の生の声を紹介する場を設けることができると考えている。						
	到達目標	歴史学とはどのようなものか、ということが説明できるようになる。						
履修条件	特になし。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	◎ (よく当てはまる)						
他科目との関連性	特になし。							
教科書	適宜資料を配布する。							
参考書	適宜紹介する。							
評価方法	毎回の授業内での小レポート等【30%】・授業最終回に実施する学習到達度の確認【70%】で評価する。							
フィードバック方法	提出された小レポート等に対してコメントする。							
評価基準	下記授業単元の内容について理解し、それを適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」評価とする。理解や表現に不適切な点のある者にはその程度に応じて「B」または「C」とし、理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。試験欠席など、評価不能の場合は「F」とする							

授業科目名	【G】 歴史学概論	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		その他参照				
授業回数	授業内容					
1	ガイダンス、歴史とは何か、歴史と歴史学 予習： シラバスを確認する。(2時間) 復習： 高等学校までに学んだ歴史はどのようなものだったか整理する。(2時間)					
2	歴史学のエッセンス①:歴史学の方法 歴史学の研究とはどのようなものか 予習： 近年の歴史学の研究成果にどのようなものがあるか調べる。(2時間) 復習： 歴史学の研究方法について整理する。(2時間)					
3	歴史学のエッセンス②:史料論 史料とは、史料批判、偽文書、非文字資料について 予習： 史料とはどのようなものか調べる。(2時間) 復習： 史料の特性について整理する。(2時間)					
4	歴史学のエッセンス③:史料の資料化 史料の調査、整理、保存、活用、保全 予習： 資料化とはどういうことか調べる。(2時間) 復習： 資料化の方法について整理する。(2時間)					
5	歴史学のエッセンス④:歴史学と隣接分野 歴史学と考古学、文学、民俗学など 予習： 考古学、文学、民俗学とはどのような学問か調べる。(2時間) 復習： 歴史学と隣接分野の学問方法の異同について整理する。(2時間)					
6	史学史①:西洋における歴史学 歴史の叙述のはじまり、近代歴史学、現代歴史学 予習： 古代ギリシャの文化について整理する。(2時間) 復習： 歴史を叙述するということについて考察する。(2時間)					
7	史学史②:東アジア的歴史認識x 東アジア的世界観と歴史叙述、司馬遷、正史、曆、儒教 予習： 古代中国の文化について整理する。(2時間) 復習： 歴史に対する東西の考え方の違いについて考察する。(2時間)					
8	史学史③:日本における歴史の叙述 史書の編纂、中国の影響、近代歴史学の影響 予習： 日本における歴史の叙述の始まりについて調べる。(2時間) 復習： 日本における歴史の叙述方法の変化について整理する。(2時間)					
9	東洋史と日本史①:揺れ動く東アジア世界と日本 予習： 東アジアにおける王朝の興亡について確認する。(2時間) 復習： 中国大陸における王朝興亡の影響について整理する。(2時間)					
10	東洋史と日本史②:中華帝国と日本 予習： 隋唐の律令について確認する。(2時間) 復習： 律令国家の変質について整理する。(2時間)					
11	西洋史と日本史①:ヨーロッパの拡大と日本 予習： ルネサンス・大航海・宗教改革について確認する。(2時間) 復習： ヨーロッパ文化の日本への影響について整理する。(2時間)					
12	西洋史と日本史②:近代化する世界と日本 予習： 産業革命について確認する。(2時間) 復習： 現代に繋がる諸問題の発生について整理する。(2時間)					
13	歴史学と諸学問分野とのかかわり①:歴史学と法学 予習： 法学における歴史学的研究とはどのようなものか調べる。(2時間) 復習： 歴史学と法学とのかかわりについて整理する。(2時間)					
14	歴史学と諸学問分野とのかかわり②:歴史学と政治学 予習： 政治学における歴史学的研究とはどのようなものか調べる。(2時間) 復習： 歴史学と政治学とのかかわりについて整理する。(2時間)					
15	歴史学と歴史教育、現代的課題、総括、学習到達度の確認 予習： これまでの講義内容をふりかえる。(2時間) 復習： 現代的課題について考察する。(2時間)					
その他	「予習・復習」で示したポイントを参考にしつつ、積極的な姿勢で学んでほしい。 ※Gカリ:【選択必修(ウ)】					